

《戸田かけはし高等特別支援学校の活性化・特色化方針》

種別	知的障害	学部・学科	高等部・普通科	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 156 (女) 72	計 228
アクセス	JR 埼京線 「戸田駅西口」から徒歩 10 分 国際興業バス 蕨駅発（戸田駅入口,下笹目行き）、または西川口駅発（上戸田地域交流センター,北戸田駅行き）に乗車し、「戸田翔陽高校バス停」から徒歩 3 分					
＜教育課程等＞						
○自立と社会参加に向けて、これまでの学習の継続性や積み重ねを大切にしつつ、先進的な取組などを取り入れて、高等部単独校の利点を生かした教育を実践。 ・地域との連携を見据えた作業学習 （カフェ／食品加工、オフィスサービス、縫製、革工、紙工、水耕・園芸、陶芸、木工、メンテナンス） ・授業全般における積極的な I C T の活用 ・サークル活動など、生涯学習を見据えた学習活動 ・教育相談や進路指導における高校との連携						
＜学校行事・部活動＞						
○高校と同一敷地内の利点を生かした交流・連携 ・体育祭や文化祭などの学校行事や日々の授業における高校との交流 ・教育相談や進路指導における高校との連携、高校と特別支援学校の連携モデルの構築など ○学校安全の徹底 ・計画的な避難訓練の実施、学校安全（生活安全、交通安全、災害安全）の徹底による安心・安全な学校生活の実現・部活動の充実（バスケットボール、サッカーなど）						
＜家庭・地域との連携＞						
○地域と連携した教育活動 ・コミュニティースクールの導入 ・作業学習における企業や福祉事業所との連携 ・地域店舗と連携したカフェ運営や地域清掃などの作業学習 ・祭り等の地域イベントへの参加など ○地域の特別支援教育をリードする学校 ・学区内の高校を中心に特別支援学校のセンター的機能を発揮するとともに、学校公開や研究成果の発表などにより特別支援教育に係る情報等を積極的に地域へ発信						
＜進路＞						
○進路指導の充実 ・日々の教育活動における進路指導 ・福祉制度等に係る説明会実施など保護者との連携 ・関係機関と連携した進路先の確保、簡易版就労アセスメントの活用など						



戸田かけはし高等特別支援学校

～育成方針～



目指す学校像

認め合い、高め合い、励まし合いながら、豊かに生きていくための土台をつくる

学校教育目標

思いやりの心を育み、丁寧に学びを支えることで、生徒の自立と社会参加を目指すとともに、交流などを通じて地域等と連携する学校

目指す生徒像

- か： 考えや思いを伝えられる生徒 【主体性】
- け： 健康な心と体をつくる生徒 【健康】
- は： 励ましあいながら仲間と進む生徒 【協働・共同】
- し： 自信をもって社会に向かう生徒 【自立と社会参加】

教育活動の充実

カフェ運営や水耕栽培など充実した作業学習、授業全般における積極的なICTの活用、サークル活動など生涯学習を見据えた学習活動など

進路指導の充実

日々の教育活動における進路指導、福祉制度等に係る説明会実施など保護者との連携、関係機関と連携した進路先の確保、簡易版就労アセスメントの活用など

地域と連携した教育活動

コミュニティスクールの導入、作業学習における企業や福祉事業所との連携、地域店舗とも連携したカフェ運営や地域清掃などの作業学習、祭り等の地域イベントへの参加など

高校と同一敷地内の利点を生かした交流・連携

体育祭や文化祭などの学校行事や日々の授業における高校との交流、教育相談や進路指導における高校との連携、高校と特別支援学校の連携モデルの構築など

学校安全の徹底

計画的な避難訓練の実施、各種対応マニュアルの整備など、学校安全（生活安全、交通安全、災害安全）の徹底による安心・安全な学校生活の実現

地域の特別支援教育をリードする学校

学区内の高校を中心に特別支援学校のセンター的機能を発揮するとともに、学校公開や研究成果の発表などにより特別支援教育に係る情報等を積極的に地域へ発信